

ペンギん
3月



一人遊びだったペンギんさん。「いっしょにしよう」「ねえねえ、おいで～」「おうちにはいいよ～」と友だちを誘って遊ぶようになりました。“いっしょ”が嬉しくて仕方ない様子です。



この1年でペンギんさんは、上手にご飯が食べられるようになったり、うがいができるようになったり、着替えができるようになったり、大人と言葉のやり取りができるようになったり、ハサミが上手になったり…。

こんなにも大きく、お兄ちゃんお姉ちゃんに成長しました。1年間子どもたちの大きな成長を間近で見守らせていただくことができ、とてもうれしかったです。保護者の皆様にはたくさんのご協力本当に感謝しています。ありがとうございました。



お弁当どうぞ～♪

1

お弁当どうぞ！



ありがとう
あれれ？開かない！

5

お～いっ！！

よかったね♡



2

かして！
Hちゃんがする！



6

おにくよ！

おにくあるね～



3

はい、どうぞ！



ありがとう

7

おはな、
みてみて

ほんとだね～



4

は～い♡
まってね～



スプーン！
ない！

8



HちゃんはIくんのことが大好き。いつもIくんを「ごはんだよ～」と呼んでは作ったご飯を食べさせてあげています。
この日はお弁当を作りました。ふたを開けてあげて、スプーンを取ってきてあげていろいろな世話をします。「おいしい」と食べてくれるIくんの言葉に嬉しそうな笑顔があふれています。
Iくんの話す言葉を丁寧に聞き、「うんうん」と応えるHちゃん。
相手の思いを受け入れる力・相手を思いやる力が育ってきています。

粘土で色んなものを作ったよ

粘土遊びを始めたHちゃん
指先や手のひらを使って作り始めました。

粘土で公園作るの

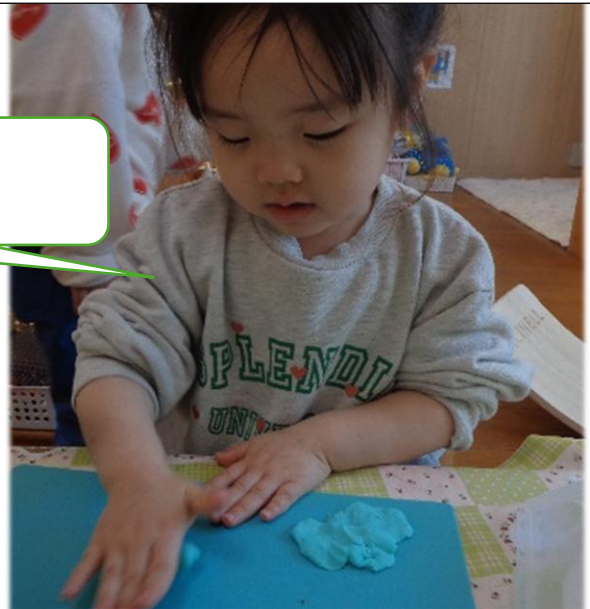


今、すべり台作ってるの



公園で遊んだ遊具をイメージして粘土で1つずつ作っています
粘土で何をつくっているのかをおしえてくれます。

これは 砂場で
皆で遊べるように大きく作ってるの



お友だちと一緒に遊んでいるイメージで
大きく手のひらで伸ばして公園を作っていきます。



出来上がったすべり台、ブランコ、鉄棒など
色々な遊具が見られました。

普段遊んでいる公園の遊具を思い出しながら
粘土で次々と遊具を作っていたHちゃん。
粘土の感触を楽しみながら、頭の中で思い描
いたイメージを形にしようと工夫している姿
を見ると、自分の経験や思いをもとに自由な
発想で表現する力が豊かになってきているな
と感じました。



かめ 3月

少しずつ春の暖かさを感じられる季節になりました。

この1年で、こどもたちは表情や仕草、できることがたくさん増え、大きな成長を見せてくれました。

節分

豆まきをしました。

鬼のお面をかぶって

かわいいお兄さんお姉さん鬼に豆を投げました♪

「おには一そと！」と元気に声を出し鬼を追い出しました！



こわかった〜

ままごとコーナーで
お手玉をおにぎりに
見立ててまきまき♪



食育

おにぎりを巻く様子を見たり食べたいしました！

指先が器用になってきましたね。給食の時に自分で

くるくる巻いて食べたおにぎりはいつもとより美味しく感じて

たくさん食べていました。🍙



進級・入園したころの子どもたちは、お家の方と離れるのがイヤ！！泣いて過ごす事も多かったです。

少しずつ笑顔が増え、友だちと一緒に遊ぶ姿を見ると嬉しく思います。保護者の方々のご理解・ご協力に感謝しております。

1歳児の子どもたちは進級して2歳児(ペンギん)になります。

少しでも不安なく進級できるよう、ペンギんで過ごす時間を設けていきたいと思ひます。

ままごと遊びから見える成長

Eちゃんはおままごとが大好きで、よく遊んでいます。この日も「ごはん作る！」と意気込んで作り始めました。すると、すぐにシフォン布という大きい布の玩具を取りに行きました。“どうするのかな～？”と見ていると、「先生、エプロンして！」と保育士に持って来ました。大きな布を体に巻いてエプロンにしたかったようです。給食の時には保育士もエプロンをしていますし、Eちゃんのお母さんもお料理の時にしているのかもしれませんが。大人が生活の中で何気なくしていることも子ども達はよく見ていますよね～！今までもシフォン布はずっとありましたが、Eちゃんがごはんを作るならエプロンがあると発想したこと、そしてお部屋にある玩具の中から選んでそれをエプロンに見立てたことに感心しました！



また、別の日には具材の玩具をお皿に入れてごはんを作ると、新しく出したばかりのハンカチの玩具も持って来ました。“また何か面白いことを思いついたのかな～？”と思って見ていると…。お皿の下にハンカチを敷いてまるでランチョンマットのようです！今まではなかった遊び方でしたが、ハンカチの玩具を出したことでそれをすぐに遊びに取り入れて新しい遊び方が生まれ、楽しんでいました。後日、Eちゃんのお母さんにこの話をすると、Eちゃんのお家ではお母さん達はごはんの時にランチョンマットを敷いているとのこと。ハンカチは本当にランチョンマットに見立てたものだったんですね～。



食べる真似だけだったおままごとが、ごはんを作り、必要なものを考え、何かを見立てる、そんな姿に成長を感じました。子ども達は生活の中で経験したことが遊びに生かされ、遊びの中で学んだことがまた生活へと繋がっていきます。「遊び」と「生活」が互いに影響し合いながら育っていくことを忘れずに、子ども達が何に興味・関心を抱いているのか、何を楽しいと感じているのか、子ども達のどんな所を育てたいのかななどを常に考えて、必要な玩具・遊びを考えていきたいと改めて思いました。

～番外編～

